

令和6年度
学 校 要 覧



学校教育目標

知識を活かして互いに学び、
自ら未来に挑戦する緑っ子の育成

緑丘小学校 校歌

作詞 梅木 幸吉
作曲 本母大二郎

一 鶴見の峰を越えてきた
風も明るく呼ぶ窓に

かがやくひとみひとすじに
まことをさぐり 知をひらき
芽吹く若草 うすみどり
ああ 緑丘小学校

二 潮もきらめく 別府湾
朝の光のさす 校庭に
大地を踏んで 元氣よく
からだをきたえ 技をねり
繁る青葉の ふかみどり
ああ 緑丘小学校

三 昇る湯けむり ほのほのと
心ゆたかに あたたかに
みんな仲よく 手を組んで
希望の明日へ むねをはり
ああぐ大空 あさみどり
ああ 緑丘小学校

別 府 市 立 緑 丘 小 学 校

大分県別府市東荘園八丁目1番45号 (〒874-0836)

TEL 0977-25-6380

FAX 0977-25-6382

令和6年度 授業改善の5点セット

①【授業改善テーマ】	自分の考えをもち、主体的に表現する力の育成
②【授業改善の重点】	国語、算数、理科における「生徒指導の3機能」を生かした授業づくり
③【取組内容】	国語、算数、理科において意見を交流し、共感的人間関係を育む授業の実践
④【取組指標】	<ul style="list-style-type: none"> ○意見を交流し、共感的人間関係を育む時間を設定した授業を実施時数の60%以上実践する。 ○「意見を交流し、共感的人間関係を育む時間を設定した授業づくり」について校内研修(学期に2回以上)で支援方法を検討する。
⑤【検証指標】	○国語、算数、理科の学期末チェックテストにおいて、(知・技)では目標得点達成児童の割合を70%以上に、(思・判・表)では目標得点達成児童の割合を60%以上にする。

学校の沿革の概要

昭和53年	4月	別府市立緑丘小学校開校	鶴見7・9組、東荘園4～9丁目、吉弘10組 荘園北町、実相寺の5地区を校区とする
昭和54年	2月	体育館竣工	3月 開校・落成記念式
昭和55年	4月	光の園を校区に編入する	
昭和58年	4月	別府市立鶴見台中学校開校により中学校区変更	実相寺地区→鶴見台中学校区へ 鶴見、東荘園、吉弘、荘園北の各地区→中部中学校区へ
昭和63年	3月	開校10周年記念式典	
平成6年	3月	開校記念式典	
平成9年	7月	開校20周年記念 ふれあい親子バザー	
平成13年	10月	体育館屋根改修工事	
平成19年	11月	開校30周年記念集会	
平成20年	1月	交通安全優良校 全国表彰	
平成26年	11月	九州音楽教育研究大会	
平成29年	8月	一般教室及び特別教室の空調設備 設置完了・供用開始	
平成30年	2月	開校40周年記念式典	
令和元年	1月	校地外周のセメントブロック塀を全て撤去・フェンスに改修	(～3月)
令和2年	3月	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため臨時休校	(2日～3月26日)
令和2年	4月	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため臨時休校	(8日～5月31日)
令和3年	3月	洋式トイレ(各階)増設・災害用トイレ(運動場)設置	
令和4年	11月	体育館床張り替え工事	
令和5年	12月	体育館空調設備設置	

児童の状況(人数)

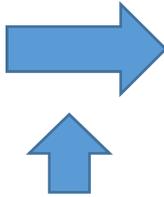
令和6年5月1日現在

学年	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級					計	
	1組	1組	2組	1組	1組	2組	1組	2組	1組	2組	1組	2組	すみれ1	すみれ2	すみれ3	たんぽぽ1	たんぽぽ2		
学級計	33	21	21	32	21	23	26	26	23	24	7	7	6	6	5				281
学年計	33	42		32	44		52		47		31								
世帯数	18	14	14	20	17	14	26	24	22	21	2	3	4	0	2				201

目指す人間像 ・自分らしくしなやかに生きる自立した人間
 ・互いを尊重し、「ふるさと別府」を愛する人

①今の学校の教育課題

- ・確かな学力の維持・向上
- ・運動意欲及び体力の向上
- ・「チーム学校」づくりに向けた学校マネジメントの推進



②めざす学校（子ども・教職員）の姿

- ・協働的・主体的に自己の資質・能力を高めようとする子ども
- ・教育のプロとしての自覚と協働の意識を持ち、自己研鑽に努める教師

学校の教育目標

知識を活かして互いに学び、自ら未来に挑戦する緑っ子の育成

確かな学力の育成

○達成指標

- ・学期末チェックテスト（思・判・表）の目標得点達成児童の割合が60%（1年生90%以上）を超えた教科数を22以上にする。

○重点的取組

- ・「生徒指導の3機能」を活かした授業の実践

○取組指標

- ・学級担任は、国語、算数、理科において、「意見を交流し、共感的人間関係を育む時間を設定した授業」を実施時数の60%以上実施する。
- ・学級担任は、「意見を交流し、共感的人間関係を育む時間を設定した授業づくり」について校内研修（学期に2回以上）で支援方法を検討する。

豊かな心の充実

○達成指標

- ・生活ルールアンケートで「3つの名人になるために自分が立てた目標を毎日実行できた。」と回答した児童の割合を全体比70%以上にする。

○重点的取組

- ・児童の意識付け及び自己評価の実施

○取組指標

- ・学級担任は、3つの名人になるための目標を自己決定させ、その取組についての意欲付けや声かけ、振り返りを1日1回以上行う。

いじめ・不登校の解消

○達成指標

- ・不登校の未然防止と、初期対応の徹底
- ・認知したいじめの解消率100%

○重点的取組

- ・不登校・いじめの未然防止と初期対応の徹底

○取組指標

- ・学級担任は、人間関係づくりプログラムを週1回以上実施する。
- ・学級担任は、いじめアンケートの実施（年3回）、あったかハート1, 2, 3の確実な実施をする。
- ・いじめ・不登校対策委員会を毎月1回以上実施し、実態やこれまでの支援、今後の支援等について共通理解し、外部関係機関とも連携する（日程調整が可能な場合は参加要請）。

体力の向上

○達成指標

- ・前学期（1学期は前年度体力テスト）よりも50m走の記録を更新した児童の割合を全校の75%以上にする。
- ・「体育の走力に係るウォーミングアップトレーニングや中休みの50m走タイムを真剣にやっている。」と回答した児童の割合を70%以上にする。

○重点的取組

- ・体育での走力に係るウォーミングアップトレーニング
- ・中休みにおける50m走を1日1回以上走る活動

○取組指標

- ・学級担任は、体育の実施時間の80%以上で、走力に係るウォーミングアップトレーニングを実施する。
- ・学級担任は、中休みの50m走の取り組みを帰りの会で把握し、1日1回以上取り組めるように声かけを行う。

家庭との連携

○iPadを持ち帰った際に、不適切な使い方をしていないか必ず確認をする。

○家庭学習の手引きを使って子どもと一緒に目標を立て、学期ごとに振り返りをする。

○1日1回は、あいさつやあったかい言葉かけ等を行う。

地域との連携

○月に1回以上の放課後学習教室を、3・4年生を対象に実施する。

○子どもに出会った時は、あいさつやあったかい言葉かけ等を行う。

小中連携教育の推進（共通実践）

■学習指導に関して

- ・子どもが自ら取り組む授業展開や課題の工夫
- ・自分の考えを持つ場、表現する場の設定
- ・ICTを活用した授業づくり

■生徒指導に関して

- ・あいさつの推進と個性を認める活動の実施
- ・小集団での関係づくり活動の工夫

■CSに関して

- ・中学校区一斉のあいさつ運動への参加

地域や家庭とともにある学校づくり(コミュニティ・スクールの推進)